

(様式第7号)

大阪府高校生留学支援金留学報告書

2014年7月19日

学 校 名		支 援 金 交 付 年 度	
氏 名			
留 学 期 間	平成 2014 年 1 月 27 日 ~ 2015 年 1 月中旬頃		
留 学 先	国 名	カナダ	学校名 Prince Albert collegiate institute
専 攻			

留学中の生活、留学の成果、留学で得たことをどのように活かすか、これから留学する人へのアドバイス等について2000字以上で記入してください。

私は今カナダに留学しています。もうすぐでカナダに来て半年が経ちます。こちらではホームステイをしております。私のホストファミリーには、父と母と3人の娘と1人の息子がいます。でもすでに2人の子供は家をでていて、今家には19歳と13歳の娘が残って一緒に暮らしています。私は特に13歳のホストミスターと距離が近いように感じています。いつも共に行動し、毎日よくしゃべります。こちらからたくさんしゃべりかけてくれるのでこちらとしてもしゃべりやすいです。それに彼女との会話からたくさんの英単語や英語の発音を学ぶことができるので私の英語にとってもとても良い機会となっています。もちろんホストミスター以外の家族も私のたどたどしい英語を聞こうと努力してくれますし私の質問に丁寧に答えたりくれたりと私に親切にしてくれています。カナダに来て最初の1週間は本当につらくて日本に帰りたいたいとばかり思っていました。が半年が経ちだいたいふんとカナダの生活に慣れ、楽しく感じるようになってきました。学校では友達もできて、昼休みも何人かの友達とランチを食べたり、話したりと楽しくすごすようになってきました。もちろん日本にいる家族や友達に会いたいと思うこともありますが、日本ではみたことのない

よった壮大な自然に触れたり、たくさんの新しい人々に出会ったり、新しい食べ物に出会ったり、日本では体験したことのない凍るような寒さの中で生活したり、日本のすばらしさに気づいたりとかナダにきていなければできなかったであろうたくさんのすばらしい経験をすることができていますと感じています。

私の英語力はカナダに来る前よりはついていると思います。英単語のボキャブラリーも増え、英語の発音と話されている英語を聞き取る能力も少しは高まったと思います。でもまだわからないこともたくさんあります。なので残りの半年間も、もっとがんばって英語力を上げなければならぬと思います。日常会話もだいぶと理解できるようになってきたのですが、少し早く話されたりするとまだついていけないことも多いです。もっと英語力を身につけたいです。この留學生活は私を英語面だけでなく、人間的にも成長させてくれていると思います。カナダに来る前の私は少し積極性に欠けていたと自覚しています。しかしこちらに来てから積極性や自分の意志をしっかりと持っている人たちに囲まれて生活しているうちに私も積極性や自分の意志を示す機会が少しずつ増えてきていると思います。これは将来の就職活動の時や仕事場において自分や自分の会社をアピールするときにすごく大事なことだと思います。その能力を今身につけることができていますとすることは私にとってとてもプラスになるはずです。

この留學経験は一生涯忘れることのできないすばらしいものです。これから毎年また立ち戻るとたくさんの思い出ができていくに違いありません。もちろんホストファミリーは本当の家族ではないですし、言語も違う国でたくさんの不安におとわれ、つらい経験をするものもありますがたくさんの思い出とすばらしい経験をするのができるのも確かなのでもし留學をしたくてできるのであればぜひするべきだと思います。英語力ももちろんですが人間的にも成長することのできるすばらしい経験になると思います。

上記の内容については、公表される場合があることを了承します。

(申請者が☑してください。)